

KGA

'94秋季号

1994年10月1日発行



NO. 48

目次

特集・第45回「関東オープン」	チャリティ報告・競技日程表 12
〈特別寄稿〉世界の「関東オープン」へ 1	平成6年度 第15回関東ジュニアゴルフ選手権競技 13
“関東オープン”がやってきた 5	常務理事会・分科委員会 16
平成6年度 第45回関東オープンゴルフ選手権競技 8	月例競技成績表・お知らせ 20
“オープン名物”名誉スターのジュニアゴルフクリニック 10	表紙photo／都賀カントリー倶楽部(撮影・片山晴美/KGA広報委員)

関東ゴルフ連盟

特別寄稿

世界の「関東オープン」へ

文・デューク石川(米国ゴルフ記者協会会員)

写真・片山晴美(KGA広報委員)／立川恵子(都賀カントリー倶楽部)



炎天下での表彰式 大勢のギャラリーも参加

関東オープンが、開催方式を変更して3年目になるが、今年第1ラウンドのペアリングを目にした時、「これはアジア・ツアーフィニッシュ戦のダンロップ・オープンか」、それとも少々オーバーな表現が許されるなら「ミニ全英オープンか」とさえ印象付けられた。国内の感覚では「僅か600万円の優勝賞金」に、何故これほど多くの国から参加者があったのか。

効を奏した“エアメール作戦”

エントリー117名のうち、一割以上(18名)が外国からの出場者だった今年の関東オープン。その中には豪州、ニュージーランド、台湾などは勿論、南アフリカや米国、メキシコなどからのプロが、何人も含まれていた。

七つの地区オープンの中の一つでしかない国内競技。何か仕掛けなければ、ここまで国際的な雰囲気は醸し出せないはず。そのからくりを明かすと、それは関東ゴルフ連盟が、世界各国へ送った“エアメール作戦”だった。

関東オープンには、幾つもの出場資格がある。そのうち海外の選手に該当するものは、メジャー競技の歴代優勝者とか、各ツアーオープンで優勝するなど、世界各国のト

佐藤 清事務局長の話によると「ジャック・ニクラスからニック・プライスまで。さらに世界各国のゴルフ協会へも、参加を呼びかけ、来日することは叶わなかったものの、さすが世界のトッププレイヤー、皆さんきちんと出場できない旨の返事も届いた」そうである。

そんな中でも大会関係者を喜ばせたのは、豪州ゴルフ界の重鎮、テリー・ゲイルの出場だった。

48歳という年齢
もあって、ここ数年は特筆すべき活躍のないゲーム。
しかし、89年のダンロップ・オープンで優勝するなど、世界各国のト



テリー・ゲイル

ーナメントで主役を演じてきた男が、都賀CCの1番ティグラウンドに立っていたのだ。

ゲイルは関東オープンに参加した理由を、次のように説明している。

「正直言って招待状を受け取った時は、嬉しかった。でも1試合だけの出場では、来日しなかったと思う。

私はブライアント（視覚障害者）ゴルフに、長いこと拘わっていて、その国際大会が、関東オープンの週の月曜日に、東京で行われた。そんな日程が重なったからです。

いずれにしろ海外からの参加には、航空運賃などが掛かる。だから魅力を感じたとしても、関東オープン1試合だけでは、二の足を踏むプロも少なくないと思う。特に若いプロたちは。

もう一つ希望を言わせてもらえるなら、招待状をもっと早く送付してほしい。そうすれば日程の遅り繰りがもっと楽に出来るからだ。

若い頃の私もそうだったが、世界を駆けめぐるツアープロは、少なくとも半年先の日程まで、基本的な部分では決まっているのですから」

南アフリカから初来日したクレイグ・カムブス。彼も関東ゴルフ連盟からの招待状を受けて、出場を決めた一人だった。

「大会の規模を知って、即座に来日することを決めた。600万円という優勝賞金は、南アフリカツア

ーのどのトーナメントより、2倍以上の額です。いいプレーさえ出来れば、ボクにもチャンスはあると判断したからです」

ツアープロ生活2年目の29歳。年末には米ツアーのQS（プロテスト）を受験するカムブス。彼は南アフリカからの来日だから、支払った航空運賃だけでも、結構な額になるはず。

そのため関東オープンの前後に、台湾と韓国でトーナメントに出場。それによって一試合当たりの経費を、幾らかでも分散し軽減させようとの努力をしていたが、収入の少ない若手にとって、これは当然の発想である。

日本でプロテストに合格しているカルロス・エスピノサ（メキシコ）も、ほぼ同じ日程を組んでの来日だった。彼も次のようにコメントしている。

「日本の試合は、ボクたち外国籍のプロにとって、いつも魅力的だ。こういうトーナメントが三つぐらい続いてくれたら、海外からの出場者はもっと多くなる。それに招待状をもっと早く送って欲しいものだね」

海外で航空券を購入する時、早めに手を打てば驚くほど安い。エスピノサにしても今回4000ドルを払っているが「早く動いていれば半額以下で済んだはず」と苦笑していた。

関東オープンから国際性を感じさせられた理由は、他にも数多く在った。それらは米国やカナダで腕を研いた日本の若手が活躍。その一方で日本



熱戦を刻々と伝えるスコアボード 係員は研修生のボランティア



クレイグ・カムブス



カルロス・エスピノサ



ブレア・フィリップ



ジェ夫・ワグナー

在住の外国人プロが、選手としてだけでなく、通訳とか日本の情報をお伝えする役目として、生き生きと動き回っていたことである。

例えば36ホール終了時点で単独首位にたつた江連忠と2位についた伊沢利光。彼らは共に米国でゴルフを学び、更にカナダツアーナども、数多くのトーナメントに出場した経験を持っている。

ギャラリーの間から「本場でやってきたプロは、さすがだな」との嘆声が、何度も聞かれたものである。

日本のプロテストを受験する迄は、英語学校の教師をしていたブレア・フィリップ（カナダ国籍）は、当然のことながら日本語は流暢。そんな彼を外国からの参加者は、何かにつけて頼りにしていた。

日本の習慣から将来、日本でツアーのライセンスを取得しようとするための相談まで。

前出のカムブスが、こう話していた。
「初めての日本だけに、寂しい一週間になってしまふないと覚悟して成田に着いた。ところが英語を話す出場者が多いくだけなく、ブレアのように日本語がペラペラの白人とまで会えた。

結果的に36ホールのカットをクリアできなかつたが、彼らのおかげで日本と関東オープンが、とても身近に感じた」と。

外国人選手の厳しい目

全出場者の一割以上を占めた外国人プロ。しかし彼らが全員、好印象を受けて帰っていました訳ではない。出場した日本人ゴルファーの一部の態

度に首を傾げる一方で、関東オープンなど日本のトーナメントの将来に、何が必要かという建設的な意見も、当然のことながら聞かれた。

「何ヵ月も雨がほとんど降らないと聞いていたのに、都賀CCのコースコンディションは良かった。でも競技には初めからハンディがあった。

日本のグリーンにボクたちは四日間で、慣れ切ることが出来ない。もう一つはコース内に結構OBの白杭が目立つから、ラウンドが進むに連れ、どうしてもスウィングが小さく縮まってしまう。

もう少し全体的にフラットなコースで、競技が出来ないものだろうか。そうすれば海外からの参加者は、もっと多くなるはず」

「ラウンド中にアマチュアの、しかも学生ゴルファーが、歩きながら喫煙していた。驚いた。

欧米社会では、街中でも歩行中の喫煙は悪いマナーなのです……」

「ボクたちはラウンド後、練習場へ直行したりする。ところが日本人のアマチュア参加者の何人かは、食堂へ直行し、そのままビールを何杯もノドに流し込んでいた。

その人たちからは、ゴルフがスポーツという印象を受け難かった」

都賀CCの練習場は、クラブハウス正面の駐車場に隣接している。第2ラウンドの行われた9月2日の夕刻のことだった。

駐車場の端に立って練習を見ていたら、直ぐ後方で一台の車が、けたたましいエンジ音を響かせて、走り去っていった。所謂ゼロヨン発進といいうやつである。運転していたのは関東オープンに、選手として出場中の学生ゴルファーだった。

辺りに居た大人たち



アンソニー・ペインター



スティーブン・スチルヒューズ

が、一人残らず眉をひそめるのだが、大学ゴルフ部関係者の証言によると、Aブロックの一部の学生ゴルファーたちにとって、決して珍しい行為ではないのだそうである。

ゴルフ場の駐車場は、レース場のサーキットではないはず。コース内だけではなく、こういう部分でもエチケットやルールを知らない学生ゴルファーには、ただ驚かされるだけだった。

癌を克服したスチュアート・ヘンドリー

今回出場した外国人プロの中で、変わり種を探すとしたら、米国人のスチュアート・ヘンドリーである。

強豪チームを持つヒューストン大を卒業した後、プロ転向したヘンドリーは、来日直前のカナダ・プロ選手権で13アンダーをマークして優勝している。

彼はまた19歳の時に、左膝の骨に癌細胞が発見され、32ヶ月の長期にわたり、闘病生活を送っている。ポール・エイジンガーほどには知られていないが、もう一人の癌病棟からのカムバック選手なのである。

そのヘンドリー。来日した数日後、関東ゴルフ連盟を訪れ、挨拶をしている。

「初来日するきっかけを作ってくれたのが関東オープンへの招待状。だから、そのお礼にと思って」と話していた。当たり前の行為と受け止められな

くもないが、なかなか出来ることではない。

ヘンドリーは、これ迄に米ツアーや、アジアツアーカナダツアーや、欧洲ツアーナなど世界のほとんどのツアーデプレーしている。そんな体験にたって、次のようなコメントを寄せてくれた。

「いまや最も国際的なスポーツになったゴルフで、一番大切なことは、スコアが運、不運によって左右されないようなコース設定だと思う。

いずれにしろ異った多くの国々から、参加者があれば、その分だけ異った多くの意見が出て、関東オープンそのものを、向上させる大きな要因になるはず。

もう一つボクが関東オープンに、魅力を感じたこと。それはベスト3に入れば、日本のナショナル・オープン選手権への出場資格を得られることです。」

今年ボクは19位だったが、来年こそはベスト3をめざすつもりです」

関東オープンは、世界各国のゴルファーとの関係を、着実に深めつつある。



スチュアート・ヘンドリー



最終日 最終ホール(18番)の

“関東オープン”がやってきた

文・塙田 正 (KGA広報委員)

写真・石川博英 (KGA広報委員)

今年の関東オープン（第45回）は9月1日から4日間、栃木県の都賀カンツリー倶楽部で行われた。都賀カンツリー倶楽部にとってはもちろん初めてのビッグ・イベント。加えて日照り続きの猛暑ということで関係者一同、抱えるのは心配のタネばかり。成功裡に終った大会のあの人、この人の苦心談を拾ってみた。

■ 酷暑のグリーン作り

「この暑い最中に、よくもまあペントグリーンでやれましたね。しかも、このペントが最高ときているのだから……」

関東オープンを見物にきていたギャラリーの人がこんな感想をもらした「たしかに最近は芝草研究が進んで、一昔前には考えられないペント芝グリーンの年間使用が可能になってきている。そのせいか、多くのコースで高麗グリーンに代えて、洋芝系のグリーンが主流を占めるようになってきている。

だが、今年はそのグリーンにちょっとした異変が起きている。雨無しの真夏日が70日以上を記録し、考えられないような気象現象で、どこのペントグリーンも管理に四苦八苦させられたのである。

もちろん、関東オープンを控えた都賀カンツリー倶楽部も例外ではない。とくにその責任者であるグリーン・キーパーの壁谷盛夫氏の苦労は並大抵のものではなかった。

「関東オープンを引き受けたよ」と滝沢武社長（都賀CC副理事長、栃木県ゴルフ場協議会会長、KGA常務理事）から話があったのがほぼ1年前。この話に「大変なことになってしまったな」と壁谷氏は一瞬思ったが、「このコースもすでに創立25周年を迎えるのだから、大きな競技会をやってもいいし、それを完全にやり終えることで、さらにいっそう倶楽部の名声も上がるはず」との滝沢社長の言葉に一も二もなく「やりましょう」と引

き受けた。

倶楽部は関東オープン開催を機会にコースの改造に着手した。7番ショート・ホールを14m下げて、どこにピンを立ててもその根元まで見えるようにし、5番ではグリーンを6m上げ、6番ではティ・グラウンド前の谷を12万立方mの土を入れて埋めることにした。

このように関東オープンに向けての改造工事は着々と進み、使用を決定したペントグリーンも6月ごろまでは、絶好の状態で推移した。昨年のように太陽が顔を出さず、来る日も来る日も雨というのと違って、今年の梅雨は適当に降って、晴れの日も結構多かった。このために芝の成育もよく、壁谷氏も「これなら9月から始まる関東オープンもなんとかなる」と、この時点では先行きの不安はまったくなかった。ところがである——。ご存じのような日照りと猛暑が7月から始まったのだ。最初のうちはクラブ・ハウスの下にある管理棟前の一干トンの水槽タンクや池の水を汲み上げることで、ある程度は息をついていたが、8月になるともう間に合わず、汲み上げるにも125ミリのパイプでは、広大な面積をカバーするのに不十分だった。

「一番困ったのが8月でしたね。いくら雨が降らなくとも週1回くらいは降ってくれると期待したんですが、実際は2週間に1回くらい。それも数ミリでちょっとしか降らなかつですかね。いや、まいりました」

壁谷氏は当時を振り返ると異常気象だから仕方がないと、運を天にまかせてしまえば、気も安まるのだろうが、もうすぐそこまで



最終日 最終ホール(18番)の
カップの位置を確認する壁谷さん

関東オープンは迫ってきているのだ。都賀CCの開催といっても、壁谷氏はこのイベントが単に都賀CCだけで開催するものではなく、近隣コースはもちろん、栃木県全県下のゴルフ場が一丸となって後押ししてくれているのを知っていた。厳しい気象条件があったとはいえ、「ことしはお天気が悪くて」と地肌をさらすフェアウェーヤ赤茶けた斑点だらけのグリーンを提供するわけにはいかなかったのである。

「この悪条件下でも、最善を尽くさなければ……」

グリーン・キーパーとして、壁谷氏が一番苦しんだのもこの時期だが、彼は猛暑をやわらげる方法を考えているうちに、ある案が頭の中にひらめいた。

■ 奇策 大型扇風機をまわせ



滝沢 武氏

「それは社長（滝沢武氏）の牧場にある巨大な扇風機です。牧草管理のために牧場にはいくつかの大きな扇風機があるのを思い出したんです。あれを借りてきて、夜通し風を送っていれば、いくつかのグリーンが助かるはずと思ったわけです」

ふつうの天候ならなんでもないが、ことしのような猛暑には、立ち木が混んでいるために風通しのよくないグリーンが何面かある。例えば8番、10番、15番などのグリーンがそれである。これらのグリーンが日照りと水不足のために過度に温度が上昇し、病気になりがちで、ほかのグリーンにくらべて勢いがなかったのである。壁谷氏は「大扇風機で風を送り込めば、それが冷房効果となってこの病気も防げるはず」と踏んだのだ。

「いやあ、驚きましたね。8月にはいったばかりのある夜の8時ごろ、キーパーから『熱帯夜で風がないから大扇風機を貸してくれ』といってきたんだよ。翌朝取りにきましたがね」

と滝沢社長も、コースに扇風機を取りつける案にはびっくりした。この扇風機は大会直前まで、延べ20夜くらい使われたが、お蔭でグリーンの病気も辛うじて防ぐことができた。

「ほんとうに大会の初日を無事迎えたときにはほっとしましたよ。早朝、米澤敏男支配人の顔を見たときには、思わずがっかりと握手してしまいました。支配人も同じ気持ちだったんじゃないですか」

と、コース管理もうまくいき、大会初日を迎えたときの気持ちをこんなふうに話す。

「もう4時にコースにやって来ることもなくなりましたね」

と水に向けると、

「いやあ、仕事をするのが病氣ですから、大会が終わってもまだ続くんじゃないですか。芝は生きていますからね」

と、こんな返事が返ってくる。大会は終わっても、このコースを利用するメンバーやビジターに早くも思いを馳せているようだった。

■ 特別メニュー「関東オープン定食」

苦勞といえば上村節男食堂部長（副支配人）の気苦勞も大変なものだった。もともと少数精銳主義で食堂をまかなっていたので、大会期間中、どんなふうにしたら円滑にいくのか、それが頭の中から離れなかった。

「まあ、朝食というのは、だいたいどのくらい出るかつかめるにしても、問題は昼食だったんです。選手、役員、それに来賓と、どのくらいの人が食事されるのか。これが最後まで不安でしたね。しかし、中の調理関係者、ウェートレスのみなさんも頑張ってくれて、なんとかあまり迷惑をかけずに終わらせることができました。ほんとうにほっとしています」

と、精銳主義でやり通すことができた喜びで思わず顔がほころぶ。

大会期間中を通じて上村部長が頭を悩ます問題がもう一つあった。それはことしの猛暑である。連日、35度を越える暑さが続き、この暑さの中で選手たちの食欲をどうや



メニューに苦労した上村さん

ったら刺激することができるかというのが悩みのタネだったものである。

「結局、肉類などのソースにも気を遣い山かけなどの精のつくもの、さらにさっぱりした酢のものなどに工夫をこらすことになりました」

と選手たちに酷暑に負けないプレーをしてもらうためにこんな苦勞もしている。そしてその代表的メニューが「関東オープン定食」だったのである。上村部長は「前年の関東オープン（浜野CC）を見学に言ったときのメニューを参考にした」といっているが、「選手に力いっぱい頑張ってもらおう」という気持が合理的な「酷暑メニュー」にながったのは確かなようである。

■ 栃木県あげての協力体制

以上のように関東オープン開催の裏にはこんな苦労話があったのだが、「コース関係者全員の連携プレーでいろいろな問題点を切り抜けることができた」（米澤支配人）わけである。しかし当俱楽部の理事長である山口一氏の心配事はまた違うところにあった。

それはキャディ問題である。実数が足りない上に、このような大きな大会を開くのが初めてなので、キャディ自身の負担も大変であるし、「うまく選手についてまわれるか」

という不安もあったのである。しかし、この問題も近隣のコースの研修生が手伝ってくれることになり、その悩みも解消した。

近隣するコースといえば、この都賀CCでの関東オープンは、単に都賀CCだけで開催したものではなかった。

都賀CCの社長である滝沢氏は、栃木県ゴルフ場協議会と同県ゴルフ連盟の二つの団体の会長という要職にある。

滝沢社長が「関東オ



もう一人の大会々長
米澤支配人



都賀カントリークラブ
山口理事長

ブンを都賀CCで」と依頼されたとき、とっさに頭に浮かんだ案があった。それは「これは単に都賀だけで受け容れるべきものではなく、栃木県としてお引き受けしようじゃないか」という考えだった。栃木県ゴルフの主流をなす二つの団体のトップとしては、あるいは当然の考え方かもしれないが、この「栃木県のコース全体への要請として受け容れる」というスケールの大きな考え方方が、なによりもこの大会を盛り上げ、意義あるものにしたといって決していいすぎではない。

というのもKGAはこの関東オープンを1992年からチャリティ・トーナメントと位置づけ、国連難民救済のための募金活動を行なってきている。そして今年の大会は「ルワンダ緊急救援アピール」に応えることにしたのだが、このチャリティに栃木県ゴルフ場協議会加盟の全コースが応じてくれたのである。

「特筆すべきことは協議会には113コースが加盟していますが、その中のKGA未加盟の34コースもこのチャリティに応じてくれたことです。私がこの関東オープンが意義あるものという感じを強くしたのも、未加盟コースを含めた全コースがチャリティという旗印のもとに参加してくれたからです」

と全県一致して関東オープンに取り組んだ様子が、この滝沢社長の言葉からもうかがうことができる。

また栃木県ゴルフ連盟も主催する知事杯参加全選手（2816名）に協力を要請し、チャリティに参加してもらっている。これも実質的に関東オープンに参加していることになるわけで、滝沢社長の「全県挙げて」を裏付けた形になっている。

「都賀CCでの関東オープンを評価すれば、まあまあといったところでしょうか」

と米澤支配人は控え目に語るが、この大会が都賀コース関係者はもちろん、全県一丸となって支えたという点では、これから開催の方法に一つの大きな指針を与えたといってもいいかもしれない。

平成6年度(第45回)関東オープンゴルフ選手権競技

- 開催コース 都賀カンツリー倶楽部／7,107ヤード パー72
- 開催日 平成6年9月1日(木)～平成6年9月4日(日)
- 参加者 121名(アマ36名、プロ85名)

◀ベストアマ 片山晋吾選手



▼昨年の優勝を果たした佐々木選手



▲ギャラリーは木陰で刻々と変わる戦況を見守る

▼最終組の左より 佐々木
片山 江連選手

▲躍進著しい江連選手



▲早朝から日傘持参のギャラリーが目につく



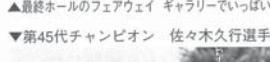
▲大にぎわいのギャラリープラザ



▲最終ホールのフェアウェイ ギャラリーでいっぱい

▲UNHCR杯を受ける
片山選手

▲今年から表彰式はスマートを目指し全員立ったまま



▼第45代チャンピオン 佐々木久行選手



▲細川理事長より優勝カップ

▲大会役員もさわやかな終幕にご満足

平成6年度 第45回 関東オープンゴルフ選手権競技成績表

順位	選手名	所属	第1ラウンド			第2ラウンド			第3ラウンド			第4ラウンド			合計
			アウト	イン	計										
1	佐々木久行	G M G 八王子	34	38	72	36	34	70	34	33	67	33	35	68	277
2	磯崎 功	境 川	37	35	72	33	36	69	35	35	70	36	35	71	282
3	溝潤 洋介	宍戸国際 静コース	37	34	71	33	36	69	35	36	71	36	35	71	282
4	伊沢 利光	モスクワードサービス	35	37	72	34	34	68	37	35	72	34	37	71	283
5	※片山 晋興	つ く ば ね	37	36	73	38	36	74	31	32	63	37	37	74	284
6	稗田美佐男	向原ゴルフセンター	37	38	75	36	35	71	36	35	71	34	34	68	285
7	野口 豊	浜 松 岡 國 際	36	34	70	39	34	73	35	37	72	36	34	70	285
8	芹沢 大介	デ サ ン ト	36	38	74	34	37	71	34	34	68	36	36	72	285
9	福澤 孝秋	諏 訪 湖	35	36	71	36	36	72	34	35	69	34	39	73	285
10	高松 厚	益子ダイナミックゴルフティ	37	36	73	34	34	68	35	38	73	37	35	72	286
11	江連 忠	ハイランドセンター	35	35	70	32	37	69	33	37	70	41	36	77	286
12	A.PAINTER	オーストラリア	37	36	73	34	36	70	37	37	74	34	36	70	287
13	楠本 研	ク ラ リ オ ン	36	35	71	34	38	72	37	36	73	35	36	71	287
14	桑原 将一	鷹 彥 ス リ ー	38	37	75	38	33	71	34	35	69	36	36	72	287
15	真板 渕	フ リ ー	35	36	71	37	35	72	33	36	69	36	39	75	287
16	小泉 清一	ロ イ ャ ル	38	37	75	36	36	72	37	35	72	36	33	69	288
17	羽川 豊	セントラルスポーツ	35	35	70	36	39	75	36	37	73	36	34	70	288
18	佐藤 幸平	芳 芳	39	37	76	36	36	72	35	34	69	35	36	71	288
19	S.HENDLEY	ア メ リ カ	37	35	72	37	39	76	36	35	71	36	34	70	289
20	小川 聰	皆 川 城	39	33	72	37	37	74	38	36	74	35	34	69	289
21	※今野 康晴	本 千	39	34	73	35	35	70	39	36	75	35	36	71	289
22	B.PHILIP	25那須ゴルフガーデン	38	35	73	37	36	73	38	34	72	34	37	71	289
23	※辻村 明志	関 東 ジ ュ ニ ア	37	37	74	35	38	73	35	34	69	36	37	73	289
24	深堀圭一郎	ア イ ネ ッ ト	37	39	76	33	36	69	36	37	73	37	35	72	290
25	横島 由一	ジ ュ ン	37	38	75	36	35	71	33	38	71	35	38	73	290
26	木下 透	妙高バイナブルレー	35	38	73	35	35	70	40	38	78	36	34	70	291
27	須藤 聰明	筑波ジャパンゴルフ	35	36	71	39	35	74	39	36	75	35	36	71	291
28	中山 徹	長 太 郎	36	35	71	36	33	69	39	39	78	38	35	73	291
29	鶴尾 茂彦	那 須 小 川	36	39	75	34	37	71	40	36	76	35	35	70	292
30	三嶽 公治	浜 松 岡 國 際	36	36	72	36	40	76	38	35	73	37	35	72	293
31	※阪田 哲男	袖 ケ	34	37	71	37	36	73	38	39	77	37	35	72	293
32	澤田 信弘	長 岡 南	38	38	76	38	34	72	36	37	73	37	35	72	293
33	汪 徳昌	筑 波 産	37	36	73	34	37	71	39	35	74	38	37	75	293
34	S.HOLMES	浜 松 シ ー サ イ ド	38	37	75	37	36	73	37	38	75	37	33	70	293
35	倉本 泰信	ヨ ネ キ ッ ク ス	41	37	78	37	34	71	37	37	74	36	34	70	293
36	幸森 忍	日 本 大	38	35	73	37	38	75	39	37	76	36	33	69	293
37	横山 明仁	東 京 タ ワ ー	35	37	72	34	36	70	37	35	72	40	39	79	293
38	植田 浩史	マ ル マ ン ゴ ル フ	34	37	71	37	37	74	35	40	75	36	38	74	294
39	入野 太	富 士 観 光 開 発	37	37	74	37	37	74	37	36	73	35	38	73	294
40	中根 初男	大 利 根	37	36	73	35	39	74	37	38	75	37	35	72	294
41	福垣 大成	フ リ 一	35	40	75	35	36	71	36	36	72	36	40	76	294
42	初見 宜宣	望 月	36	38	74	38	34	72	36	35	71	39	38	77	294
43	※宮本 晶昌	大 热 海 國 際	36	39	75	35	37	72	34	38	72	38	38	76	295
44	藤田 雅也	フ リ 一	39	38	77	35	35	70	38	37	75	37	36	73	295
45	N.DARMA	廣 濱 堂	40	36	76	36	35	71	38	37	75	34	39	73	295
46	Z. M. O E	タ イ リ ス ト & F J	39	38	77	34	36	70	37	38	75	40	33	73	295
47	※日暮 俊明	扶 桑	37	35	72	37	36	73	36	37	73	40	37	77	295
48	草壁 政治	Jクラブ霞ヶ浦コース	39	36	75	38	35	73	36	38	74	37	36	73	295
49	久保田 利剛	東 京 富 士 士	35	38	73	38	35	73	39	37	76	39	35	74	296
50	幸神山 隆志	日 本 大	37	39	76	36	36	72	39	36	75	40	33	73	296
51	高野 勇一	江 戸	38	40	78	35	36	71	40	34	74	37	36	73	296
52	江本 光	丸 山 ゴ ル フ セ ン タ ー	35	38	73	34	39	73	39	36	75	40	36	76	297
53	清水 泰治	寄 あ さ ひ ケ 丘	39	35	74	37	37	74	35	39	74	37	38	75	297
54	※横尾 要	横 滝 義 光	37	37	74	37	37	74	42	36	78	36	35	71	297
55	日立 高 鈴	日 立 高 鈴	37	38	75	38	36	74	36	35	71	40	38	78	298
56	和田 雅英	東 京 五 日 市	38	36	74	36	36	72	38	37	75	40	37	77	298
57	小林 富士夫	ベ ア	37	37	74	36	37	73	37	39	76	38	38	76	299
58	武井 泰道	仙石ゴルフコース	38	36	74	37	38	75	39	36	75	40	39	79	303
59	※吹野 耕一	K G A 推 薦	37	40	77	35	37	72	40	40	80	40	37	77	306

※印は、アマチュア選手

“オープン名物” 名誉スターのジュニア ゴルフ クリニック

写真・石川博英、舟橋一芳 (KGA広報委員)

3人の歴代チャンピオンによるエキシビションと
ジュニア・ゴルフ・クリニックは、すっかり“オ
ープン名物”となった。

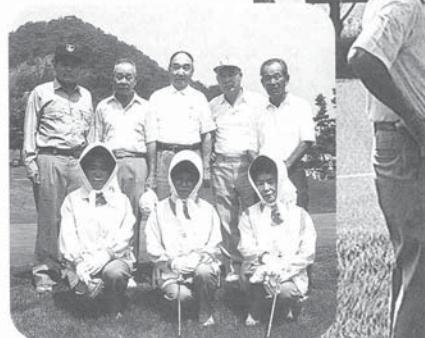
今年も林由郎、小針春芳、石井朝夫の3氏が、元
気な姿を会場に現わしてくれた。あるギャラリー

は“これが楽しみで毎年、関東オープンを観にく
る”とのこと。

3人も大勢のギャラリー、ジュニアに囲まれて、ご
きげんの一日であった。



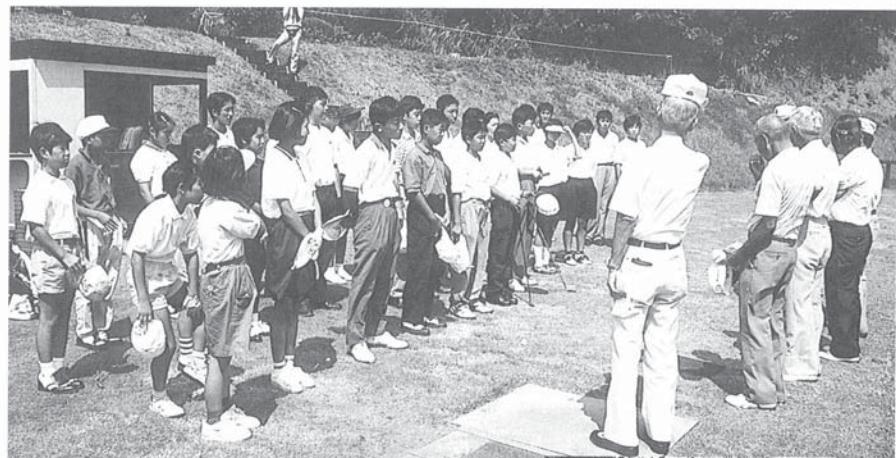
▲ジュニア教室にも参加 予定
説明を聞き 詳細な打合せ



▲スタート前の記念写真 キャ
ディさんも粒よりの美人



▲スタート前のひととき リラックスして支配人と談笑 (左より林 石井 小針 米澤支配人)



▲スクール開講式 孫のようなジュニアもていねいなあいさつ



◀ホラ こうすれば絶対スライ
スはしないと林プロ



▼基本のアドレスとグリップを
指導する小針プロ



▲ジュニア教室を見守る父母達「はたして自
分の子供は……」



▲レッスン終了時には全員見進れるなどの上達



▲スタンスの幅がせまいと石井プロ



◀スタンスの幅がせまいと石井プロ

ご協力ありがとうございました。

今年度の国連難民救援チャリティ及び関東オープン開催県、市町村への寄付金収支明細は次記のとおりです。

平成6年度 国連難民救援基金口收支計算書(単位円)

〔収入〕 個別寄付金 (敬称略)			
(法人) 栃木県ゴルフ場協議会	1,000,000	(個人) 加盟俱楽部寄付金 (318俱楽部)	11,984,348
栃木県ゴルフ連盟	500,000	都賀カントリー俱楽部チャリティBOX	110,606
埼玉県ゴルフ協会	371,000	その他	
千葉県ゴルフ協会(県民ゴルフディ委員会)	1,000,000	預金利息 (2/14) 9,036 (8/15) 7,398	
プロゴルフ協会	3,000,000	KGA BOX 7,254	23,688
栗田工業	1,000,000	5年度 繰越金	8,187,357
朝日生命保険相互会社	50,000	収入合計	29,158,089
吉田企興	30,000		
スタッフKGA計算センター	63,090		
	7,014,090		
(個人) 栃木県知事益参加者一同			
小林明子他52名	1,408,000		
サトウタイプ	50,000		
原延瑠	30,000		
富澤俊雄	100,000		
室伏健二	100,000		
加藤勝栄	50,000		
	1,838,000		
〔支出〕 寄付金			
UNHCR	20,110,606		
栃木県社会福祉協議会	1,500,000		
栃木市	1,000,000		
都賀町	500,000		
	23,110,606		
チャリティ関連経費			
凸版印刷	849,621		
スズキ徽章	450,728		
ダンロップ	(767,350)		
送金手数料	12,555		
	2,080,254		
	支出合計		
	25,190,860		
7年度 繰越金			
	3,967,229		

平成7年度 関東ゴルフ連盟競技日程表

平成6年10月20日現在

月	日	曜	競技名	開催コース	競技申込締切日(予定)
4 24	月		第1ブロック 高根		
4 25	火	関東女子選手権予選	第2ブロック 黒磯	3/27(月)	
4 28	金		第3ブロック 小田急西富士		
5 8	月	関東グランドシニア選手権	相模	3/27(月)	
5 12	金		第1ブロック GMG八王子		
5 10	水		第2ブロック 萩原バッシュ		
5 8	月	関東アマチュア選手権予選	第3ブロック 愛鷹	4/3(月)	
5 11	木		第4ブロック 那須小川		
5 未定			第5ブロック 東我孫子		
5 9	火		第6ブロック 清春		
5 15	月	関東女子選手権決勝	筑波		
16					
5 22	月		東京地区 小金井		
5 23	火		埼玉地区 高根		
5 22	月		千葉 第1地区 京葉国際		
5 22	月		第2地区 木更津		
5 26	金		神奈川地区 相模湖		
5 23	火		茨城 第1地区 セパルステロス		
5 22	月	関東俱楽部対抗戦	第2地区 エンブリック		
5 22	月		第1地区 大平台		
5 22	月		栃木 第2地区 アローエース		
5 22	月		群馬地区 ロイヤルオーク		
5 22	月		静岡地区 三島スプリングス		
5 25	木		長野地区 川中島		
5 22	月		山梨地区 甲斐駒ヶ根		
H6.9 2	金		新潟地区 柏崎		

2/24(金)

*一部変更になる場合があります。

月	日	曜	競技名	開催コース	競技申込締切日(予定)
6 13	火				
14	水	関東アマチュア選手権決勝	袖ヶ浦	(袖ヶ浦コース)	
15	木				
16	金				
6 26	月	関東俱楽部対抗戦	相模原		
7 24	月				
24	月		(高校男子)	茨城	
25	火	関東ジュニア選手権予選	富士	日高	6/12(月)
25	火		千葉・川間	程ヶ谷	
未定			(女子)	未定	
24	月		(中学男子)	鹿ヶ谷	
8 2	水	関東ジュニア選手権決勝		武藏・笛井	
3	木				
8 31	木				
9 1	金	関東オープン選手権	魔之台		
2	土				
3	日				
9 4	月		第1ブロック 赤城国際		
9 4	月		第2ブロック 市原京急		
9 4	月	関東シニア選手権予選	第3ブロック 體育館ボリー		7/10(月)
9 7	木	関東ミッドシニア選手権予選	第4ブロック 那須黒羽		
9 7	木		第5ブロック 麻生		
9 25	月	関東シニア選手権決勝・関東ミッドシニア選手権決勝	南総		
26	火				

平成6年度(第15回)関東ジュニアゴルフ選手権競技

写真・石川博英 (KGA広報委員)

今年の関東ジュニアは、まさに炎天下の熱戦となつた。

8月3日、36.6°、8月4日、35.9°……。これは熊谷地方気象台正午の発表だが、コース内は40°ちかくであつたに違ない。奮闘ぶりをフォト・ドキュメントで紹介しよう。



▶今年の参加選手の最年少は高根中の石井洸介君 1年生スタート前にお父さん、お母さんに激励される。塾には行かずに、毎日300発の打ち込み。将来はプロになりたいそうだ



◀大賀ジュニア副委員長よりスタート時の注意を受ける中学生選手 一段と小さいのが日本ジュニアの出場を決めた石井君(中学1年生)

平成6年度 関東ジュニアゴルフ選手権予選競技

高校男子の部	エントリー	出場人數	欠場	予選通過人數	予選通過スコア	メダリスト
茨城	(東) Aブロック	159	150	9	21位タイ、23名	+4 (76)
	(西) Bブロック	142	134	8	22位タイ、27名	+6 (78)
日高	(東・西) Cブロック	66	64	2	9位タイ、10名	+9 (81)
	(西・南) Dブロック	66	62	4	8位タイ、9名	+6 (78)
伊豆	(南・東) Eブロック	67	66	1	9位タイ、12名	+8 (80)
	Fブロック	112	104失格1	8	12位タイ、16名	+10 (82)
程ヶ谷	Gブロック	159	154失格2	5	23位タイ、24名	+9 (81)
千葉	(東・南) Hブロック	62	58棄権1	4	9位タイ、10名	+9 (81)
	(南・西) Iブロック	62	58	4	9位、9名	+6 (78)
川間	(西・東) Jブロック	62	58	4	7位タイ、9名	+8 (80)
	小計	957	908	49	149名	
女子の部						
(東・西)	A	68	62棄権1	6	9位タイ、10名	+12 (84)
(西・中)	B	68	67	1	9位タイ、12名	+11 (83)
(中・東)	C	67	64	3	10位、10名	+13 (85)
	小計	203	193	10	32名	
中学男子の部						
藤ヶ谷		118	115失格1	3	20位タイ、22名	+13 (85)
	小計	118	115	3	22名	
	予選合計	1,278	1,216	62	203名	



▼毎年 決勝戦に協力してくれる武藏錦井コースのキャディーさん達も我が子のように「来年もがんばってぜひ来なさい」と激励してくれる



▲「うちの子はだいじょうぶかな?」と双眼鏡で見守るお父さん

▲暑さの対策も万全



◀連日の猛暑 つまつたホールで……勉強とゴルフ、暑さのための睡眠不足か……



▲「暑いです!!」

▼終了後 マーカーとスコアのチェック「79」でホールアウト「スコアに満足してる?」「大変不満です」だそうです



▲紅葉ジュニア育成委員長より表彰される選手達



▲優勝した3選手 左から 小池永子(女子・堀越) 波当根弓彦(高校男子・学館浦安) 日坂隆一(中学男子・戸田中)

平成6年度 第15回 関東ジュニアゴルフ選手権決勝競技成績表

●開催日	高校男子	平成6年8月3日(水)~4日(木)	●開催コース	武藏カントリークラブ・錦井コース	
女 子	平成6年8月4日(木)		高校男子	7012ヤード	パー-72
中 学	男子	平成6年8月4日(木)	女 子	6360ヤード	パー-72
中 学	男子	平成6年8月4日(木)	中 学	6664ヤード	パー-72

〈高校男子の部〉

順位	氏 名	学校名/学年	1R	2R	合計
1	波当根弓彦	学館浦安 (2)	73	71	144
2	五十嵐将司	学館浦安 (2)	74	72	146
3	杉原 哲	水城 (2)	73	75	148
4	横山 勝治	日体荏原 (2)	78	71	149
5	榎本 昌英	水城 (3)	78	72	150
5	岡野 英輔	埼玉栄 (3)	76	74	150
5	近藤 弘智	学館浦安 (2)	74	76	150
8	清川 俊	水城 (3)	74	77	151
9	富田 正樹	作新学院 (2)	75	77	152
10	矢野 東	富岡 (2)	80	73	153
10	室井 寛男	都岡 (2)	76	77	153
12	秋元 一男	日大高 (1)	78	76	154
12	長野 英樹	日体荏原 (3)	77	77	154
12	白山 太司	水城 (3)	77	77	154
12	庄田 伸也	大原 (3)	74	80	154
12	松田 智	佐野大 (3)	75	79	154
17	中田 篤彦	日体荏原 (2)	80	75	155
17	庭江 知史	前橋育英 (3)	79	76	155
17	山本健太郎	興誠 (2)	82	73	155
17	加瀬潤良年	明木中野 (2)	79	76	155
17	今井 秀和	水城 (1)	78	77	155
17	天野 光城	小松原 (3)	77	78	155
17	佐野 大	日体荏原 (2)	76	79	155
17	土居 達郎	日大高 (1)	76	79	155
17	小宮 忠茂	大原 (3)	76	79	155
26	市原 康彦	水城 (10)	80	76	156
26	小池 康弘	日体荏原 (1)	79	77	156
26	岩本 通	作新学院 (2)	77	79	156
26	大野 良徳	埼玉栄 (3)	76	80	156
30	鈴井 宏理	水城 (2)	81	76	157
30	海野 宏将	桐陽 (2)	81	76	157
30	水村亮一郎	日体荏原 (1)	80	77	157
30	諸方 秀審	学館浦安 (3)	82	75	157
30	豊谷 紀之	佐野大 (1)	78	79	157
30	吉柴 利安	日体荏原 (3)	78	79	157
30	萩原 拓人	日体荏原 (3)	77	80	157
30	小田倉一城	水城 (2)	77	80	157
38	戸井 雄二	埼玉栄 (2)	79	79	158
38	青柳 雅樹	埼玉栄 (3)	79	79	158
38	桜井 透	土浦大 (2)	79	79	158
38	帰山 雄輔	日体荏原 (3)	78	80	158
38	萩原 健司	西武台千葉 (3)	78	80	158
38	松浦 光寿	日体荏原 (3)	78	80	158
38	島田 創志	高崎 (3)	84	74	158
45	三越 潤	埼玉栄 (1)	81	78	159
45	新井 淳	学館浦安 (3)	82	77	159
45	五十川馬理	青山学院 (3)	79	80	159
45	西村 至央	横浜 (2)	79	80	159
45	永野 敦朗	堀越 (3)	79	80	159
45	小田 孔明	学院浦安 (1)	78	81	159
45	竹澤 学	日体荏原 (3)	77	82	159
45	金子 朋弘	佐野大 (1)	76	83	159
53	小沢生次郎	平塚工業 (2)	81	79	160
53	松浦 義宗	ヒルズ学園 (3)	81	79	160
53	福井 宏明	伊東商業 (3)	82	78	160
53	前川 洋平	西武台千葉 (3)	82	78	160
53	比留間 齊洋	70番-17番ホール (3)	79	81	160
53	金田 源	拓大稟 (3)	79	81	160
53	竹石 佑祐	学館浦安 (2)	78	82	160
53	高岡 清一	大原 (3)	84	76	160

〈中学男子の部〉

順位	氏 名	学校名/学年	OUT	IN	合計
1	白坂 隆一	戸田中 (3)	38	36	74
2	中島 雅生	中台中 (3)	38	39	77
3	市原 大輔	丸山台中 (2)	40	38	78
3	河瀬 肇史	富塚中 (3)	39	39	78
3	太田 直己	国分寺台中 (3)	40	38	78
3	石井 寿樹	高模中 (3)	37	41	78
7	石井 洋介	高模中 (1)	40	39	81
8	江原 清浩	川口南中 (3)	39	42	81
9	田中 大介	作野日大中 (3)	42	40	82
10	酒巻 晴紀	安行中 (3)	41	42	83
10	田部井 黒	聖学院中 (3)	44	39	83
12	戸町貞由紀	一宮中 (3)	44	40	84
12	戸崎 大和	福栄中 (3)	39	45	84
14	大野 裕二	戸塚第一中 (3)	40	45	85
14	米倉 由晋	芝浦工大中 (3)	42	43	85
16	尚 朝則	森中 (3)	43	44	87
17	武 慶太郎	境ヶ丘第一中 (3)	45	44	89
17	鈴木 清志	松田中 (3)	44	46	90
18	伊集院英樹	相模台中 (3)	44	46	90
18	鈴木 清邦	志学館中 (3)	49	41	90
21	大和 悠生	石神井南中 (3)	49	47	96
22	清岡 行信	千葉日大一中 (2)	45	52	97

〈女子の部〉

順位	氏 名	学校名/学年	OUT	IN	合計
1	小池 永子	堀越 (2)	36	35	71
2	中島 真弓	学館浦安 (3)	35	37	72
3	片野 孝保	桜草学院 (1)	38	35	73
4	高橋美友紀	埼玉栄 (2)	38	36	74
5	福鶴 浩子	白鷗女子高 (3)	38	37	75
5	石津 朋子	堀越 (2)	39	36	75
7	田嶋 実子	作新学院 (2)	38	37	75
7	西門 黃枝	堀越 (3)	36	40	76
9	五十嵐瑞江	堀越 (3)	39	38	77
10	鈴木志乃美	作新学院 (2)	40	38	78
10	戸部賀代子	横濱美術高 (1)	39	39	78
12	小川 涼子	堀越 (3)	41	38	79
12	櫻井 雅	堀越 (3)	38	41	79
14	丹羽 千景	堺玉栄 (3)	39	41	80
15	糸井志のぶ	作新学院 (3)	42	40	82
15	堀内 トキ	聖学院 (3)	42	40	82
15	大原 真代	農大高 (3)	43	39	82
15	塙田 公子	鶴川高 (3)	43	40	82
15	鶴岡 譲	陽城中 (3)	40	43	83
19	増田 リエ	藤村女子高 (3)	44	39	83
19	柳澤 朱実	堺玉栄 (3)	43	40	83
19	佐野 歩美	土浦大 (3)	43	40	83
23	水口めぐみ	堀越 (2)	46	38	84
23	伊藤 真吾	水戸短大 (3)	48	38	86
23	堀玉栄	堀越 (2)	42	42	84
23	西川 藍	武蔵野 (1)	40	44	84
23	山田 佳子	学館浦安 (2)	41	43	84
27	額所 由夏	松戸四中 (2)	39	46	85
28	豊嶋裕美子	西武台千葉 (2)	44	42	86
28	塙田亜飛美	砧南中 (3)	44	42	86
30	西川みさと	武蔵野 (2)	45	42	87
30	中島佳奈子	大和 (2)	41	46	87
32	安喜 美恵	作新学院 (3)	46	44	90
33	井上 裕紀	前橋育英 (3)	43	48	91
34	酒匂 直子	品川女子学院 (1)	49	44	93

常務理事会・分科委員会

常務理事会・分科委員会

平成6年度第2回常務理事会 議事録

日 時 平成6年7月27日(木) 正午
場 所 ホテル国際観光 梅の間
出席者 細川理事長、中井、古賀、松浦各副理事長、相山、福田、小宮山、松野、尾閑、斎藤、滝沢、玉井、田中、内田、渡邊各常務理事
細川理事長議長となり、12時30分開会を宣した。

—討議及び決議事項—

1. 錦島直も常務理事辞任届けの件

議長の指示により、中井副理事長より次記報告、及び説明がなされた。
・日本女子オープン開催日2日目(6月24日)、錦島常務理事と橋本愛子選手との間に起きた問題について同常務理事より6月27日(財)日本ゴルフ協会会長に辞表が提出された。
・同常務理事、及び関係者の事実確認を行い、日本ゴルフ協会臨時理事会(7月7日)において、次記のように決議した。

①常務理事からはずし、理事とする。
②競技、国際、ナショナルチーム強化各委員長職を解き、当分の間謹慎とする。
・関東ゴルフ連盟には6月30日常務理事辞表届けが提出された。
以上の報告、説明をうけ、慎重審議を行ひ次記のように決議した。
・常務理事をはずし、理事とする。
・コース選定委員長を解き、当分の間謹慎とする。

2. 各分科委員会報告、及び提案

①ハンディキャップ委員会
福田ハンディキャップ委員会顧問より、KGAグリーンシステムをJGAグリーンシステムとする際の、開発費、及び運営方法等について、

検討を開始している。KGA、JGA事務局が具体案を策定中であり、その提出をもって審議決定をお願いすることになる。

②競技委員会

尾閑委員長より

・平成7年度、関東オープン開催俱楽部は鷹之台カンツリー倶楽部にお引き受けいただいた。
・同年度は記念大会とすべく準備を開始したいが、とくにTV放映については、日本放送協会にも大会開催主旨(チャリティ・トーナメント)をご理解いただき、共に参加をよびかけ、「放映願書」を提出したい。

・平成7年度開催を目処に準備をすすめている「アンダーハンディキャップ競技」については、ハンディキャップ委員会とも協議し実施案を策定した。加盟倶楽部にアンケート調査を行い、実施方を図りたい。
・今年度新設の「関東ミッドシニアゴルフ選手権競技」については、参加者124名のため、予選競技は行わず決勝競技のみとしたい。

以上のお2委員会の報告、及び提案を承認した。

3. 平成7年度以降の「KGAゴルフ振興金及び年会費」について

各都県の状況報告がなされた。これを受け、中井副理事長より
・11月には平成7年度予算編成を行うため、10月中に常務理事、理事の責任において、周知徹底方をお願いしたい。
・事務局作成の「お願いと説明の文書」Ⅱについては、全理事に届けることとする。

14時30分、以上の議事を終了し、議長、閉会を宣した。

平成6年7月27日

議事録確認署名者

署名者 中井 文治 (印)
署名者 尾閑 秀夫 (印)

平成6年度第2回ハンディキャップ委員会 議事録

日 時 平成6年9月12日(月) 正午
場 所 ダイヤモンドホテル 会議室
出席者 渡邊委員長、原田、宮元、大原副委員長、斎藤、桑原、吉澤、福田、伏見、濱崎、早川、龟田、川又、三宅、水田、成宮、西、鈴木、寺田、佃、八木、山口、横内各委員、福田、古茶顧問

—討議及び決議事項—

1. 専用パソコンを利用したグリーンシステム(G-sys)現状報告
佐藤局長より、G-sysの現状報告がなされ、全委員これを確認した。

2. 複数倶楽部所属会員のデーター送付について

佐藤局長より、複数倶楽部所属会員のデーター送付について、以下の報告がなされ、全委員これを承認した。
「本年4月より、グリーンシステム(Gシステム)の他倶楽部登録制を廃止し、ハンディキャップ(Hdcp)のデーターは、JGA Hdcp規定に従い、ホームクラブのみ通知することとした。しかし、各倶楽部より、「自倶楽部会員は、ホームクラブ登録の有無に関わらず、最新のHdcpデーターを、倶楽部として把握したい」との声が多く、その対応について、去る8月22日開催の正副委員長会議にて慎重審議の結果、別紙の方法で、倶楽部より申請のあった会員のみ有料で、データー(Hdcp・ホームクラブ名)の通知をすることとした。」

3. G-sysの普及活動について

佐藤局長より、以下の提案がなされ、
全委員これを承認した。

「G-sysの普及については、KGA事務局と計算センターで、「普及キャラバン隊」を作り、各県毎、あるいは、近隣の数倶楽部単位で説明会を開催し、その普及に努めたい。また、その開催については各委員の協力をお願いする。」

4. アンダーハンディキャップ競技について
渡邊委員長より、机上資料をもとに詳細な説明がなされ、全委員これを確認した。

3. コース・レート査定システムについて

福田顧問より、JGA Hdcp委員会発行の「JGAコース・レーティング・システム(全国統一査定実施要項書)」をもとに詳細な説明がなされ、全委員これを確認した。

平成6年度第3回コース・レート委員会 議事録

日 時 平成6年8月9日(火) 正午
場 所 KGA 会議室
出席者 新井委員長、諸戸副委員長、前川、松岡、中川、岡田、大久保、佐久間、吉田各委員、福田顧問

—討議及び決議事項—

1. 霞ヶ浦出島ゴルフ倶楽部以下7倶楽部のコース・レートについて、机上配布の資料をもとに次記のように決定した。

(1) 霞ヶ浦出島ゴルフ倶楽部

南・東
ペントグリーン
バック・ティ 70.9
レギュラー・ティ 69.0
フロント・ティ 66.9

北・東
ペントグリーン
バック・ティ 66.9
レギュラー・ティ 66.6
フロント・ティ 66.9

コーライグリーン	バック・ティ	70.7
バック・ティ	レギュラー・ティ	69.9
レギュラー・ティ	フロント・ティ	68.6
フロント・ティ	コーライグリーン	
南・中	バック・ティ	69.4
ペントグリーン	レギュラー・ティ	67.6
バック・ティ	フロント・ティ	65.9

ペントグリーン	バック・ティ	69.4
バック・ティ	レギュラー・ティ	68.7
レギュラー・ティ	フロント・ティ	67.4
フロント・ティ	コーライグリーン	
南・中	バック・ティ	69.4
ペントグリーン	レギュラー・ティ	67.6
バック・ティ	フロント・ティ	65.9

ペントグリーン	バック・ティ	70.1
レギュラー・ティ	フロント・ティ	66.3
フロント・ティ	コーライグリーン	
南・中	バック・ティ	68.3
ペントグリーン	レギュラー・ティ	66.9
バック・ティ	フロント・ティ	65.0

ペントグリーン	バック・ティ	70.1
レギュラー・ティ	フロント・ティ	66.3
フロント・ティ	コーライグリーン	
東・中	バック・ティ	68.3
ペントグリーン	レギュラー・ティ	66.9
バック・ティ	フロント・ティ	65.0

ペントグリーン	バック・ティ	71.3
レギュラー・ティ	フロント・ティ	68.1
フロント・ティ	コーライグリーン	
東・中	バック・ティ	69.6
ペントグリーン	レギュラー・ティ	68.2
バック・ティ	フロント・ティ	66.7

ペントグリーン	バック・ティ	71.3
レギュラー・ティ	フロント・ティ	68.1
フロント・ティ	コーライグリーン	
西・北	バック・ティ	72.9
ペントグリーン	レギュラー・ティ	71.4
バック・ティ	フロント・ティ	67.8

ペントグリーン	バック・ティ	71.3
レギュラー・ティ	フロント・ティ	68.1
フロント・ティ	コーライグリーン	
西・北	バック・ティ	71.3
ペントグリーン	レギュラー・ティ	68.2
バック・ティ	フロント・ティ	66.7

ペントグリーン	バック・ティ	71.3
レギュラー・ティ	フロント・ティ	68.1
フロント・ティ	コーライグリーン	
西・東	バック・ティ	71.3
ペントグリーン	レギュラー・ティ	68.1
バック・ティ	フロント・ティ	66.7

ペントグリーン	バック・ティ	71.3
レギュラー・ティ	フロント・ティ	68.1
フロント・ティ	コーライグリーン	
西・東	バック・ティ	71.3
ペントグリーン	レギュラー・ティ	68.2
バック・ティ	フロント・ティ	66.7

ペントグリーン	バック・ティ	71.3
レギュラー・ティ	フロント・ティ	68.1
フロント・ティ	コーライグリーン	
西・東	バック・ティ	71.3
ペントグリーン	レギュラー・ティ	68.2
バック・ティ	フロント・ティ	66.7

ペントグリーン	バック・ティ	71.3
レギュラー・ティ	フロント・ティ	68.1
フロント・ティ	コーライグリーン	
西・東	バック・ティ	71.3
ペントグリーン	レギュラー・ティ	68.2
バック・ティ	フロント・ティ	66.7

ペントグリーン	バック・ティ	71.3
レギュラー・ティ	フロント・ティ	68.1
フロント・ティ	コーライグリーン	
西・東	バック・ティ	71.3
ペントグリーン	レギュラー・ティ	68.2
バック・ティ	フロント・ティ	66.7

ペントグリーン	バック・ティ	71.3
レギュラー・ティ	フロント・ティ	68.1
フロント・ティ	コーライグリーン	
西・東	バック・ティ	71.3
ペントグリーン	レギュラー・ティ	68.2
バック・ティ	フロント・ティ	66.7

常務理事会・分科委員会

ベントグリーン		平成6年度第2回広報委員会 議事録	
バック・ティ	71.7	日 時	平成6年9月3日(土) 11時
レギュラー・ティ	69.8	場 所	都賀カントリー倶楽部 会議室
フロント・ティ	68.1	出席者	内田委員長、舟橋、石川、片山、塙田、和田、山田各委員
コーライグリーン			
バック・ティ	69.9		
レギュラー・ティ	68.4		
フロント・ティ	66.8		
吾妻・音羽		——討議及び決議事項——	
ベントグリーン		1. KGAニュースNo.47総括	
バック・ティ	72.7	事務局長より次記の報告がなされ、これを承認した。	
レギュラー・ティ	70.8	・前回委員会において、年会費問題に関するアピール文を杉山委員が担当執筆することを決定し入稿したが、7月27日UNHCRの「ルワンダ難民緊急援助アピール」があり、KGAとしてこれに応えることになったため、急遽差し替えた。	
フロント・ティ	69.2	また、関係プレスにリリースを交付し、NSTオープン会場にて(新潟 中条ゴルフ倶楽部)、斎藤文志郎常務理事が記者会見を行った。	
コーライグリーン		その反響として、朝日、読売、スポーツ紙がとり上げてくれた。	
バック・ティ	71.5	・今号は、主催競技が多く、ページ数も28となつた。各々の記事は競技担当者の個性が生かされて、読みたえがあった。	
レギュラー・ティ	69.6	・「アンダーハンディキャップ競技」対談(尾閑競技委員長、塙田委員)には、これからKGAの姿勢がよく出ている。	
フロント・ティ	68.1	競技委員会、ハンディキャップ委員会と歩調を合わせて実施方のPRを今後も行いたい。	
鳥帽子・音羽		2. KGAニュースNo.48企画案	
ベントグリーン		今号は関東オープン特集号とする事務局案を承認し、取材担当者を決定した。	
バック・ティ	71.8	また、今大会には外国人選手が18人参加しており、デューク石川氏に取材執筆を依頼することとした。テー	
レギュラー・ティ	69.8		
フロント・ティ	68.1		
コーライグリーン			
バック・ティ	70.6		
レギュラー・ティ	68.8		
フロント・ティ	67.3		
2. 8月9日現在申請中の軽井沢900俱楽部以下6俱楽部について、査定日を以下のように決定した。			
那須黒羽ゴルフクラブ	8月31日(水)		
軽井沢900俱楽部	10月5日(水)		
サンレイクカントリークラブ	10月17日(月)		
菅平高原カントリー倶楽部	10月25日(火)		
相模カンツリー倶楽部	10月31日(月)		
長南カントリークラブ	11月7日(月)		

常務理事会・分科委員会

月例競技成績表

[平成6年度7月月例] 7月4日(月) カレドニアン・ゴルフクラブ

[男子]

順位	氏名	俱楽部	アウト	イン	合計
1	沢田 信弘	長 南	37	33	70
2	亀井 隆	唐 沢	37	35	72
3	高安 信行	セントラル	36	37	73
3	藤崎 和典	富士・笠間	37	36	73
3	小川 透	岡部チサン	36	37	73
3	室野 歩	新 千 葉	40	33	73

コースレート73.0

[平成6年度8月月例] 8月26日(金) 緑野カントリークラブ

[男子]

順位	氏名	俱楽部	アウト	イン	合計
1	阪田 哲男	袖ヶ浦	34	35	69
2	神戸 誠	太田双葉	36	35	71
2	永沼光一郎	鹿沼	72	35	71
2	白井 敏夫	総 武	36	35	71
2	宮 長夫	習志野	35	36	71

コースレート72.0

[平成6年度9月月例] 9月16日(金) 霞ヶ関カントリー倶楽部 東コース

[男子]

順位	氏名	俱楽部	アウト	イン	合計
1	沢田 信弘	長 南	37	36	73
1	内藤 正幸	桜ヶ丘	36	37	73
3	小久保武夫	藤岡	37	37	74
3	徳永 雅洋	ザ・レイクス	35	39	74
3	小川 透	岡部チサン	36	38	74
3	高橋 久雄	東松山	35	39	74
3	矢野 学	師ヶ崎	38	36	74

3、4、5番ニューグリーン使用の為、コースレートなし

※1位タイの沢田、内藤氏は10月月例にて、プレーオフを行ない、優勝者を決定する。

[女子]

順位	氏名	俱楽部	アウト	イン	合計
1	渡辺 恵子	高根	38	39	77
1	渡辺 恵子	高根	36	41	77
1	菅原亜矢子	慶應義塾大学	40	37	77

コースレート70.0

※1位タイの田中、渡辺、菅原各氏は、8月月例にて、プレーオフを行ない、優勝者を決定する。

[男子]

順位	氏名	俱楽部	アウト	イン	合計
1	阪田 哲男	袖ヶ浦	34	35	69
2	神戸 誠	太田双葉	36	35	71
2	永沼光一郎	鹿沼	72	35	71
2	白井 敏夫	総 武	36	35	71
2	宮 長夫	習志野	35	36	71

コースレート72.0

※7月プレーオフは田中、菅原両氏が欠場の為、渡辺恵子氏の優勝となりました。

[女子]

順位	氏名	俱楽部	アウト	イン	合計
1	西門 美枝	紫塚	38	39	77
2	箱田 美樹	甘楽	38	40	78
2	加藤 勝栄	相模原	37	41	78
2	加藤 理刈	伊豆大仁	41	37	78

3、4、5番ニューグリーン使用の為、コースレートなし

お知らせ

関東ゴルフ連盟「加盟倶楽部便覧」の変更事項は次記のとおりです。訂正加筆をお願いいたします。

理事長

- アイビスゴルフクラブ
(新) 高橋 幸雄 (旧) 岡田 富雄
- 東千葉カントリー倶楽部
(新) 富永 博 (旧) 牧田新一郎
- 相模原ゴルフ・クラブ
(新) 松本 英一 (旧) 中馬 展猪
- 鴻巣カントリークラブ
日々 遊 (逝去)

倶楽部代表者

- ダイヤグリーン倶楽部
(新) 神田 信子 (旧) 中島 清光
- 筑波カントリークラブ
(新) 諸岡 康 (旧) 牧田新一郎
- 東千葉カントリー倶楽部
(新) 富永 博 (旧) 中馬 展猪
- 相模原ゴルフ・クラブ
(新) 松本 英一 鈴木千太郎 (旧) 中馬 展猪

支配人

- 佐久平カントリークラブ
(新) 高橋 幸雄 (旧) 渡辺 弘
- カントリークラブグリーンパレイ
発行人／細川 貞 編集／広報委員会

(新) 中澤 英彦 (旧) 宇野 勇

●富士川カントリークラブ

(新) 内田 邦則 (旧) 小林 正直

●富士河口湖ゴルフ倶楽部

(新) 刷配人 渡辺 啓徳 (旧) 下山 春美

●ザ・フォーラムカントリークラブ

(新) 総支配人 赤本二三弥 (旧) 杉本 信夫

●木更津ゴルフクラブ

(新) 渡辺 晃 (旧) 関根 正伸

●茅ヶ崎ゴルフ倶楽部

(新) 尾形 浩 (旧) 村松 秀夫

●伊東カントリークラブ

(新) 取締役支配人 西山 正昭 (旧) 高田 要

東京事務所

●カレドニアン・ゴルフクラブ

(新) 〒102 千代田区麹町1-7 相互半蔵門ビル8F

(TEL, FAXは、変更なし)

●富里ゴルフ倶楽部

同上

●ミオス菊川カントリークラブ

(新) 〒153 目黒区上目黒4-36-28

TEL 03-5722-3790 FAX 03-5722-3791

H D C P

●芳賀カントリークラブ

●ザ・オーシャンゴルフクラブ

●準備中

平成6年10月1日発行 KGA ニュース No.48
発行所／関東ゴルフ連盟 東京都千代田区麹町2-12 CTS麹町ビル8F TEL.(03) 5275-0391
発行人／細川 貞 編集／広報委員会